

やまと文化の森だより

浜町へとつながる思い出の記憶が蘇る
「熊延鉄道懐かしの写真展」

期間：4月1日～5月6日
熊延鉄道とは、大正元年から昭和39年までの52年間、熊本市から美里町（旧砥用町）をつないでいた鉄道路線です。その先はバスへの乗り換えでしたが、山都町「浜町」へとつながっていました。熊延鉄道ゆかりの写真76枚を展示いたします。

浜町商店街の「レトロ広告展」

期間：4月1日～5月6日
浜町商店街のお店で実際に使われていた、昔の広告（チラシ）を展示します。手書きの絵、文字は味わい深く、どこの店舗の広告か当ててみるのも楽しい展示です。



通潤橋放水記念コラボ企画展！
～通潤用水めぐみ～「棚田からの風」パネル展

期間：4月18日～5月6日
通潤橋架橋から165年。白糸台地を潤す通潤用水や美しい棚田風景をご覧ください。

ゴールデンウィーク企画
馬見原商店街から出張！「昭和レトロの壺」展

期間：4月25日～5月6日
馬見原商店街の岩城屋さんが所有する懐かしい昭和の商品が並びます。

※いずれも新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、変更になる可能性があります。
※新型コロナウイルス感染症対策のため、入館時にはマスク・アルコール消毒・手洗い・うがい・換気並びに来場者多数の際に入場制限をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。

問合せ先 やまと文化の森 ☎72-9400 山都町下市16番地
開館時間 9:00～17:00 入館無料
休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日）、年末年始等

わたしたちの人権 182

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

『5.23差別をなくす 山都地区集会』

5月23日に開催を予定していましたが、「第25回5.23差別をなくす山都地区集会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

そこで、今月は、5.23差別をなくす山都地区集会の成り立ちや、第1回開催当時の矢部解放子ども会、中学部の皆さんの思いを交えお伝えしたいと思います。

◆開催趣旨

本集会が始まる以前には、「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす集会」として「5.23狭山県民集会」が開催されてきました。「狭山」問題は部落差別が凝縮されたものであり、「5.23」とは予断と偏見によって石川一雄さんが別件逮捕された日です。「狭山県民集会」に参加した

解放子ども会は、石川一雄さんの生い立ちやがんばりに学び、差別をなくすための訴えや行動を通して差別の仲間をつくってきました。本集会は、「狭山県民集会」の思いを繋いでいくため、1996年から開催してきました。

◆第1回当時の解放子ども会中学部の皆さんの思い

「この集会の意味は」
熊本県内各地から集まって、みんなで差別のことについて学んでいた5.23「狭山」県民大会が、今年から形が変わってしまいました。しかし、これでは今までの努力や闘いが無駄になり、今やめてしまえば石川さんの本当の真実がなくなってしまう。だから私たちは、今年から矢部で開かれる「5.23差別をなくす山都地区集会」を広げて、少しでも多くの人を集め、本当のことを言っていこうと思います。しかし、今私たちがこうやって呼

YOU&YOU通信 vol.152

YOU&YOU で出会い、現在交際中のカップルの声です。

① YOU & YOU に参加したきっかけは？

Uさん 周りから勧められて。
Vさん 友達と婚活をしていて YOU & YOU をみつけた。

② 初めて参加した時の心境は？

Uさん 個人紹介なので参加していない。
Vさん いろんな人がいるなー。年齢層も幅広い！

③ お互いの印象は？

Uさん 明るくて笑顔が素敵な人でした。
Vさん 話しやすく優しい。距離感がちょうどいい。

④ 現在の心境は？

Uさん 一日でも早く一緒に暮らしたい。
Vさん 居心地が良い。ずっと仲良くいられたらいいな～。

⑤ まだ参加していない独身者（男性・女性）へひと言

Uさん 大人数（グループ）が苦手な人は、個人紹介もあるのでおすすめです！
Vさん 交流会の内容も色々あるので、楽しく参加できると思います（^^）

問合せ先 YOU&YOU事務局（山の都創造課）坂元・吉田
【電話番号】0967-72-1158 【専用電話】090-9565-9589
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp



交際期間：3ヶ月
男性：Uさん（42歳）
女性：Vさん（32歳）

びかけをしても、多くの人の中には、「言っただけでやんなると？」とか「それでイジメがなくなるわけじゃないから。」とか思っている人はいま。だけど、そう思っている人は、集いに参加したことがない人だけだと思えます。参加してみれば、私たちが大人の人たちが、どんなに真剣にこの集いで頑張っているか、取り組んでいるかが絶対に伝わってくると思います。少し難しい言葉も入ってくるかもしれませんが、それでも全部差別の事実として知っていただければならない事柄であり、イジメや差別をなくそうといっている言葉なのです。

いでも、されている人はすごく気にすると思います。それを見ていて、知らないふりをしてる人も、やっている人と同じことだと思えます。そんな人を少しずつでもなくしたいので、集いに参加してきました。あと、自分の気持ちをしっかりと伝えることが出来る友達をつくりたいという気持ちで参加しています。

「解放子ども会は、なぜ集いに参加するのか」
私たち解放子ども会は、部落差別をなくすため学習会や全体会に行っています。そして、「狭山」県民集いにも行っています。今年の集いは今までの集いとは違うので、私たちが初めてですが、この矢部地区集いに参加して、今までの集いと同じように頑張りたいです。

「本物の「リボン」とは」
毎月23日にやっているリボン登校は、「いじめや差別をなくし、人権・命を大切にしよう」という気持ちで、多くの人がリボンをはめて登校してきています。私にとってリボン登校の日、自分の気持ちがはっきり出せる一日だと思えます。どうしてリボンをはめているのかというと、部落差別をなくしたいからです。それと、仲間外れやいじめなどのない学校にしたいからです。自分がどうしてはめるのかということを一一人考えていけばつながると思います。人がつけているというわけではなく、「私はこういう気持ちではめていこう」という考えを持ち続けたいと思います。だからこの集いのスローガンの一つとして「リボン登校の日、本当の気持ちを出せる一日！」としたのです。